



敷島北小学校 校歌について



敷島北小学校校歌

作詞 敷島北小学校・高木東六 作曲 高木東六

一 銀にかがやく 朝の富士山 とっても美しい

富士は見ている 富士は言ってる

「がんばってやっってるかい。」

ここは 敷島北小学校 のびゆく力を 育てるところ

心を合わせてはげんで行こう 今が一番大事です 敷島北小



二 赤く染まった 昼の富士山 とっても勇ましい

富士は見ている 富士は言ってる

「なかよくやっってるかい。」

ここは敷島北小学校 羽ばたく世界へ みちびくところ

体をきたえて じょうぶになろう 今が一番大事です 敷島北小



三 黒くねむった 夜の富士山 とってもおそろしい

富士は見ている 富士は言ってる

「勉強 やっってるかい。」

ここは敷島北小学校 豊かな未来を 教えるところ

手をとり助けて 仲良くしよう 今が一番大事です 敷島北小



22日(水)北小タイムの時間に全校児童による歌声集会在体育館で開かれました。ただ、4年生はインフルエンザによる学年閉鎖前で、感染予防のために参加はしませんでした。この日は、3学期に歌う場面が多くなる「校歌」と3学期の歌「世界がひとつになるまで」の2曲の練習をしました。校歌の練習の時は、音楽主任の横森先生が子どもたちに歌詞をしっかりと覚えてもらうようにと、富士山の写真も提示してくれました。

校歌は、その学校を象徴するものとして制定された歌で、ほとんどこの学校にもあると言って良いと思います。建学の精神や理想とする校風などを表し、その学校の一員であるという自覚を高めるなどの目的で、儀式的行事のときなどに歌われます。先日の3学期始業式でももちろん歌われました。本校の校歌は富士山が子どもたちを朝昼晩と見ていてくれ、尚且つ子どもたちに声をかけてくれている歌詞構成になっています。

校長室にある創立5周年記念誌「あゆみ」には、校歌制定について次のように記されています。

『敷島北小の創設の情念と求める人間像をもとに全児童、全父兄、全職員が言葉を出し合い、高木東六先生と共に集約して詩ができあがり、高木東六先生の作曲で明るい楽しい曲ができあがった。歌詞も従来のパターンを避け、新しい方向性を求めたものである。』

昭和54年3月17日に「校歌発表会」が校旗の制定と共に行われました。保護者の皆様の中でも本校卒業の方や何回もお聞きになった方々は、おそらく口ずさむことができるでしょう。作詞・作曲に関わった高木東六先生は、全国50以上もの小中高校及び大学で校歌作りに携わったそうです。「家族そろって歌合戦」等のテレビ番組にも多数出演していましたので、ご存知の方もいらっしゃるでしょう。

子どもたちには、上記校歌の太字波線部もしっかりと覚えて、自分たちの校歌を力強く歌ってほしいと思います。



校歌発表会で体育館ステージ上の高木東六先生

社会の進歩と私たちの生活

現代社会は高度情報化社会、国際化社会等の様々な呼び方をされています。今日までの進歩の歴史は、科学技術の進歩の歴史と言ってもよいかもしれません。250年以上も前の蒸気機関の発明は、人間の行動範囲を飛躍的に広げました。蒸気機関は人々を遠くへ運ぶ汽船や列車をつくり出しました。人々は、それまでよりもずっと短い時間で長い距離を移動することができるようになりました。そして、電気の発明により夜が昼間のようになり、人々は24時間行動することが可能になりました。

今の私たちの生活を見ますと、私が子どもの頃に比べると大きく変わってきています。私の古い記憶をたどって、子どもの頃の様子について覚えていることを具体的にいくつか書いてみます。きっと、子どもたちからは、「ふる〜い!」「昭和ですね。」「えーっ、何それ?」と言われそうですが。

- ① お風呂沸かしやご飯炊きなどは薪で行う。(お風呂当番でしたが、最初の燃しつけが難しかったです)
- ② お風呂に水道が付いてなくて、井戸からバケツに水をくんでお風呂に入れた。(何往復かしました)
- ③ お風呂とトイレは別棟のため家から一端出て用をたしていた。(冬は湯上がりが大変寒かったです)
- ④ 次の日に着る服は枕元にたたんで、置いておく。(戦時中の名残かもしれませんが、しつけられていました)
- ⑤ 洗濯機には脱水機能が付いていないので、洗濯機に付いていた2つのゴムローラーをハンドルで回し、洗濯物をはさんで水分をしぼった。(ゴムローラーを回すと衣類が、ほぼ平たくなって出てきました)
- ⑥ テレビは白黒で、NHK2局の他に民放1局しか映らなかった。(スイッチONにしてから映るまでに1分近く待ったような記憶があります。)
- ⑦ ご飯には必ず麦が入っている麦ご飯を食べていた。(釜を使って母や祖母が薪で焚いていました)
- ⑧ 山羊を飼育していて、父が搾った山羊の乳を温めてよく飲んでた。(犬や豚も飼っていました)

以上が昭和40年代前半頃(半世紀程前)の記憶の一部です。これらだけでも、現代とはかけ離れた生活だったということがおわかりいただけるでしょう。世の中が日進月歩、時代が進むと共に便利な生活を送ることができるようになってきました。また、遠く感じていた外国も身近に感じられるようになりました。しかし、人として大切なことを忘れていたり、便利なものに頼りすぎたりしたとき、新たな課題や問題が発生することが危惧されます。「故きを温ね新しきを知る」の言葉の通り、子どもたちにも昔のことや古い事柄にふれながら、新しい技術・知識を身につけたり新たな発見をしたりしてほしいと思います。そのためにも私たち大人の責任は大きいものがあります。そのような意味からも、機会ある毎に親や祖父母、地域の方々に少しだけ古い話を子どもたちにしていくことも大切なことだと思います。

1年生昔の遊び集会

楽寿会・保護者・祖父母の皆様のご協力を頂きながら24日(金)に行いました。子どもたちは大変楽しいひとときを過ごすことができました。



今年度最後の授業参観・学年P総会

30日(木)の5年生を皮切りに、今年度最後の授業参観と学年P総会が2月18日(火)の6年生まで行われます。今年度のお子さんの成長を見ていただくと共に、学年P総会では今年度のふり返りと来年度に向けての話し合いがあります。お忙しいとは思いますが、ご出席をお願いいたします。

インフルエンザ感染予防

今週は2・6年生が学年閉鎖になりました。2学年60名ほどがいませんと、校内もやはり寂しく感じます。先日の降雪により、しばらくは湿度も高くなりそうですが、引き続きこまめな手洗いとうがいを心がけ、インフルエンザ予防に家族ぐるみで取り組んでいきましょう。

